

平成28年9月12日～9月18日までの全国の暑さ指数（WBGT）の観測状況及び熱中症による救急搬送者数と暑さ指数との関係について (お知らせ) (平成28年度第18報)

1. 目的

環境省では、暑さ指数(WBGT：湿球黒球温度)の予測値・実況値について、今年度は、5月13日(金)から情報提供を開始しました。今般、全国の熱中症患者数が急増していることから、暑さ指数の情報提供に加え、暑さ指数の推定精度の高い約150地点について、過去1週間程度の暑さ指数の観測状況、暑さ指数と熱中症による救急搬送者数との関係について、定期的に情報提供を行っております。本情報等を活用し、広く熱中症の予防にご協力いただきますようお願いいたします。

2. この期間(9月12日～9月18日)の全国の暑さ指数の観測状況について

暑さ指数31℃以上(危険)の時間数 (168時間中)

1. 久米島(沖縄県)	21時間
2. 南大東島(沖縄県)	20時間
3. 石垣島(沖縄県)	13時間
4. 名護(沖縄県)	9時間
5. 西表島(沖縄県)	8時間
5. 宮古島(沖縄県)	8時間

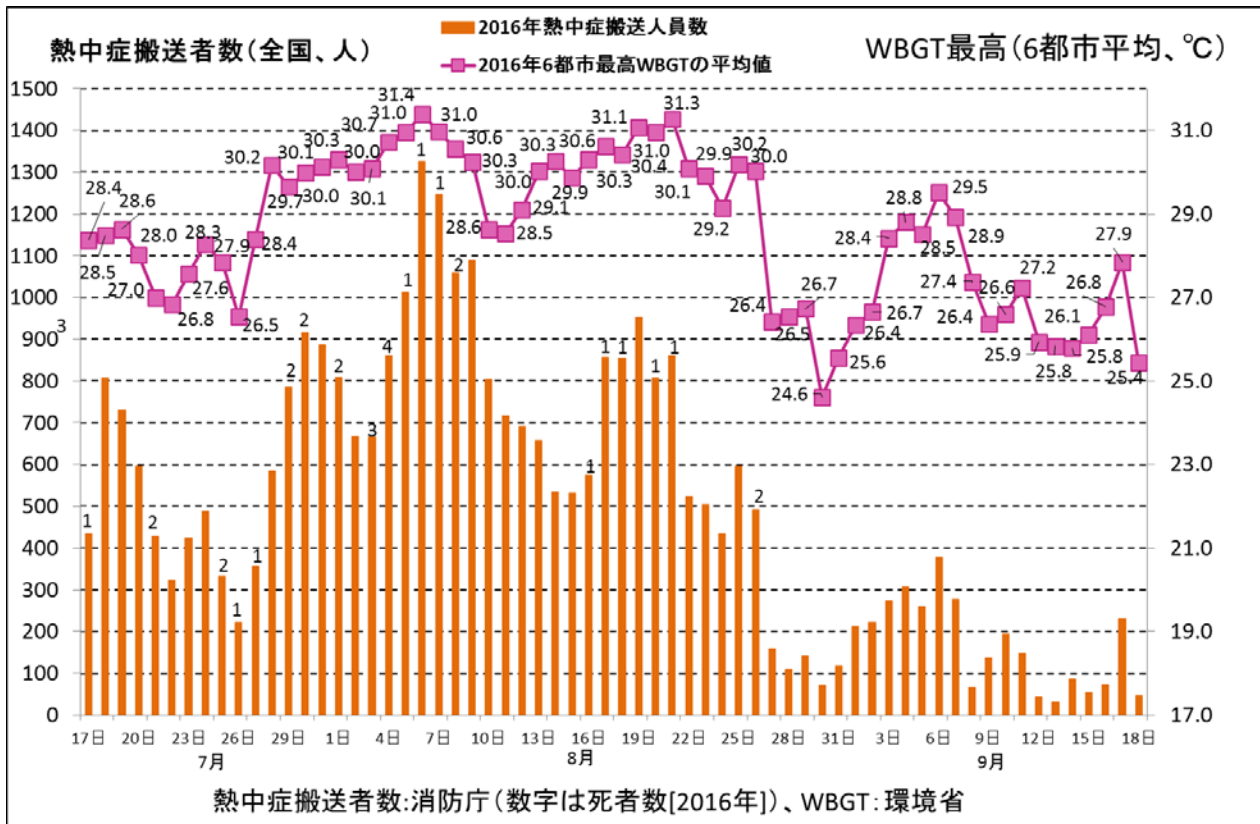
<参考>全国9都市の観測地点(暑さ指数31℃以上)

札幌(北海道)	0時間
仙台(宮城県)	0時間
新潟(新潟県)	0時間
東京(東京都)	0時間
名古屋(愛知県)	0時間
大阪(大阪府)	0時間
広島(広島県)	0時間
福岡(福岡県)	0時間
鹿児島(鹿児島県)	0時間

(注1) 暑さ指数は、これまでの調査結果による推定手法を用いて、気象庁の観測資料から推定した値です。

(注2) 暑さ指数31℃以上の時間は、四国と九州南部から沖縄県にかけて、また、同指数28℃以上は関東地方以西の多くの地点で観測されました。なお、暑さ指数31℃以上、28℃以上とは、(公財)日本体育協会の指針において、それぞれ、運動は原則中止レベル、嚴重警戒レベルです。

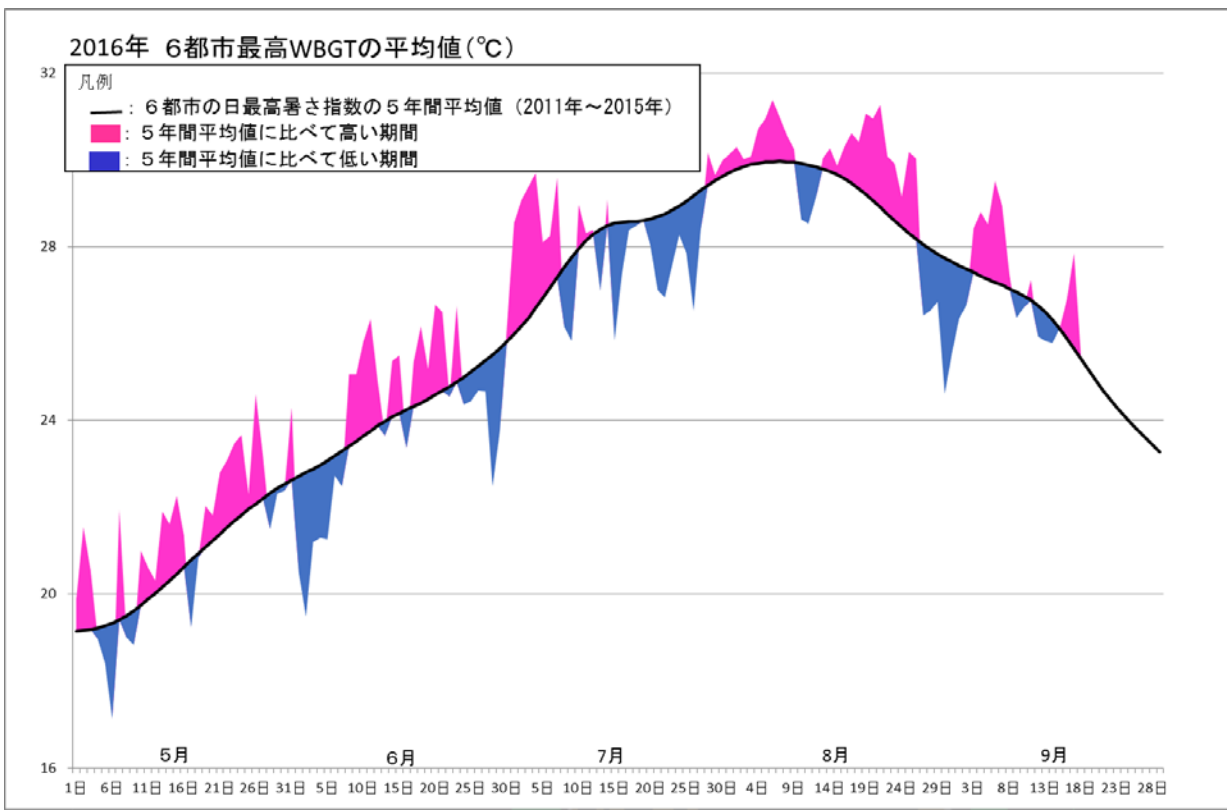
3. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送者数(全国)との関係
 6都市:東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



- 6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、9月12日～9月18日までの期間は25°C～28°Cとなり、過去5年間の平均値と比べて、週末に高い状態になりました(次ページ参照)。熱中症による救急搬送者数は、消防庁発表の速報によると、前記の暑さ指数の高かった17日(土)は100人を超えましたが、その他の日は100人以下でした。
- 沖縄県を中心に九州や四国の一部で、暑さ指数は熱中症危険度の「危険」を示す31°C以上となる時間がありました。また、関東や北陸以西では「厳重警戒」を示す28°C以上となる日もありました。過去の平均値で見ても徐々に暑さは緩和される時期ですが、陽ざしのある日など暑くなることもありますので、引き続き、全国的に熱中症に警戒が必要です。
- 気象庁発表(9月21日11時時点)の週間天気予報によれば、「最高気温・最低気温ともに、全国的に平年並か平年より高く、期間の後半はかなり高くなる日もある見込みです。」とされ、西日本では最高気温が30°C以上になると予想されている日もあります。環境省熱中症予防情報サイトの暑さ指数の予想の活用など、熱中症への警戒が必要です。
- 徐々に気温が低下する時期になりましたが、晴れば気温も高くなります。天気予報などを参考に晴れた日や蒸し暑い日には、無理な作業や運動をせず、こまめな水分補給や休息をとるなど、体調管理に注意してください。

(注) 6都市における暑さ指数は、環境省の観測と気象庁の観測資料から求めた観測値です。
 6都市:東京、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡

4. 2016年の6都市の日最高暑さ指数と過去5年間平均（2011～2015年）との比較
6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市



この期間の6都市平均の日最高暑さ指数(WBGT)は、過去5年の平均値より低めの状態で始まりましたが、週末には一時的に平均値より高くなりました。週間天気予報などを参考に、十分な暑さ対策を心がけてください。